

なかさと

発行所
新潟県中魚沼郡
中里村公民館
毎月1回25日
定価1部5円

私たちの村

人口	7,278 (+5)
男	3,605 (+7)
女	3,673 (-2)
世帯数	1,667 (+1)

8月31日現在



歌会始

お題は「丘」

昭和五十四年歌会始のお題は「丘」と定められました。お題は「丘」ですが、歌には「岡」の文字を用いても差し支えありません。

詠進要領
詠進歌は、自作の歌で一人一首とし未発表のものに限ります。用紙は半紙とし、毛筆で自書してください。病気または身体障害のため自書することができない場合は代筆でも差し支えありませんが、その場合には理由を書いた別の紙を添えてください。盲人の方は、点字でも結構です。書式は、半紙を二つ折りにし、開いて右半面にお

題と歌、左半面に郵便番号、住所氏名(本名、ふりがなつき)、生年月日及び職業(なるべく具体的に)を書いてください。無職の場合には元の職業を書いてください。なお主婦の場合は単に「主婦」と書いても差し支えありません。

詠進期間 本年九月一日から十月十一日までとし、郵送の場合は、消印が十月十日までのものを有効とします。

あて先 千一〇〇東京都千代田区千代田一番一宮内庁とし、封筒に「詠進歌」と書き添えてください。

郵政大臣より

米寿の記念品贈呈
越後田沢郵便局では、簡易保険事業が創業以来六十有余年を経過し、益々発展していることを感謝し、この度、米寿を迎えられた左記の方々に郵政大臣よりの記念品を贈呈して長寿をお祝いたしました。

鈴木 俊三(重地)
渡辺 イセ(高道山)
大島 トヲ(千溝)
山田 みつ(清田山)

簡易保険事業は、創業以来六十有余年を経過皆様からお預かりしたお金は十兆円に達するまでに成長いたしております。

そして、このお金は学校、住宅、道路などの建設資金として融資され、豊かで住みよい社会をつくるために役だっています。

中里村については、高道山小学校屋体増改築のため一三二〇万円が融資され、村の発展、福祉のため大きく貢献しています。

人生往来

◎産声

不揃へに大根芽ばへて慈雨の後
郵便局では現在「豊かで保障のある暮らしづくり」運動を行っています。又、お子様の成長期のための保険「成人保険」も発売していますので、御加入を是非お勧めいたします。

恋蝶の寄りつ離れつ小山越す 漢雪
独山 谷子 ば黄金輝く野の眞實 大島 カウ
不揃へに大根芽ばへて慈雨の後 山本 健
郵便局では現在「豊かで保障のある暮らしづくり」運動を行っています。又、お子様の成長期のための保険「成人保険」も発売していますので、御加入を是非お勧めいたします。

▽俳句
せんせんと秋ゆく瀬音秋さき
庭屋にた、すみ狂蝶の虜となる 重夫
萩咲いて川幅もつとも明るくす 泥児
独走の誰がまじうき花かざす 大泉
人送る風しなやかに水に添い 涼子
ほ、づきへばつと灯がつき雨の坂 深雪
いらだちでぬかるむ小田の穂を抜く おのえ
ぎっしりと星がつままっている山家 泰二
芋の葉にころころと朝の露 独山
恋蝶の寄りつ離れつ小山越す 漢雪
不揃へに大根芽ばへて慈雨の後 山本 健
郵便局では現在「豊かで保障のある暮らしづくり」運動を行っています。又、お子様の成長期のための保険「成人保険」も発売していますので、御加入を是非お勧めいたします。

◎高砂
新太郎 村山 松平(二重) 東田沢
新婦 南雲美智子(三) 堀之内
◎昇天
富井 嘉市 (八) 如来寺
佐藤 キノ (三) 田中
樋口シケン (七) 白羽毛

中里文芸九月投稿

新築の木香初秋の風となり
田毎はもろ古き左名塚の星
扇半びらき石と話しする 菊子
千書で種ほど取 我が老父
母と子のきずなを
群むたれむる子豚
つづく時を我は聞き
大澤子占のごとは静の
つづく時を我は聞き
つづく時を我は聞き
つづく時を我は聞き

去る八月三十一日、君県知事が県の関係部長、県出先機関の方々と帯同して中里村を訪れ、住民と直接語る「青空対話集會」がひらかれました。

総合センター広場で一時半より始まった集會には村民約四五〇人が参加、先ず上村村長より、知事のへき地訪問に対して「知事さんには公務ご多端の折にもかかわらず、関係部長、県出先機関の方々と共に本日、我が中里村においていただき、直接、村民と対話をされて下さることになりました。ありがとうございます。

従来より村発展のために、県より多大の御指導と御援助をいただきました事は申すまでもないことでありまして、深く感謝しているところですが、今後ともよろしく願いたします」との歓迎の挨拶と参加村民への挨拶があった後、中里村の情勢について道路交通の問題をはじめ、農業振興、水資源、学校教育、商工業の振興と観光の開発、福祉と保健衛生並びに冬期豪雪に対する施策等、各般にわたりその概要と現況を説明し、今後県よりの一層の御指導、御援助を懇請して歓迎式を終えました。

知事と

「青空対話集会」

村民代表九項目を陳情

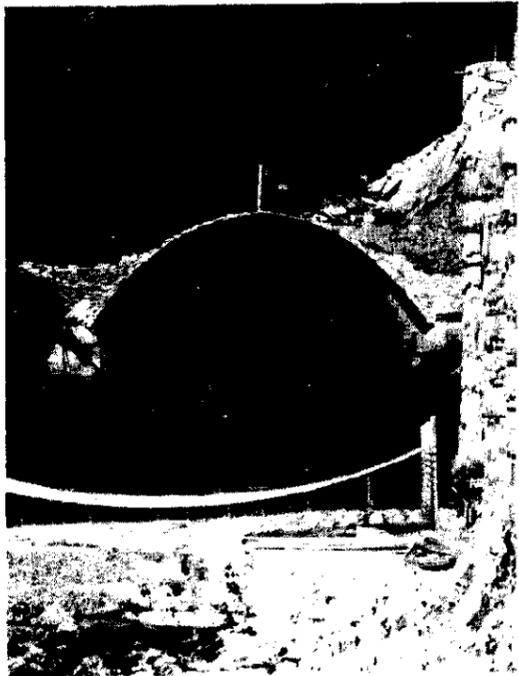
八月三十一日の「青空対話集会」で、村民代表より九項目の陳情がなされましたが、以下陳情と知事回答の要旨。

国道三五三号線改良

促進について

国道三五三号線清津峡地域の改良工事の早期促進については去る七月二十一日に、地域全住民の連署を添え、村長といっしょに陳情申し上げました通り、私共の地域は、全国まれにみる豪雪地域であるため、冬期間の長い孤立状態は、住民生活に圧迫を与え、産業、経済教育、時には後継者の問題にまで及んでいます。一日も早く穴沢トンネル、十二峠トンネルの早期完成により僻地の汚名を返上させていただきたくお願い申し上げます。又この道路の一部に落石が多く、児童がヘルメットを着用して通学しているような状態なので、尚一層早期施工対策をお願い申し上げます。(小出 藤ノ木正一さん)

「貫通した十二峠トンネル
中里村側入口」↓



知事 国道三五三の問題でありまして、今二つの工区で仕事を進めているところであり、十二峠トンネルについては、今年度中にはほぼ完成させるべく事業費をつぎこんでおります。穴沢第二トンネルも今年から本格的に工事に着手いたしました。一般の未改良の箇所は、これらのトンネルの進捗状況を見て改良を進めていきたいと考えております。いずれにしても冬期間の交通確保を図るためには、

全力をあげて努力したいと考えています。又、十二峠トンネルは来年度完成される予定ですが、通学道路の問題ですが、本年度から落石を防ぐためにモルタルのよきつけ工事を始めたわけですが、昭和五十五年完成させたいと思っております。この十二峠トンネルが来年度完成しますので長い間おまたせいたしましたけれども、三五三号線も着々と工事を進めていきたいと思っております。

県道中深見越後田沢停車場線改良促進について

県道中深見、越後田沢停車場線は倉俣地区住民唯一の生活道路であり通学道路でもあります。この道路一番の難所であったヘツツリは、拡巾舗装ができ、雪崩防止が十四基できていますが、落石や土砂崩防止とはなりません。雪崩防止施設の増設と、最も危険箇所のスノーセットによって交通の安全が確保されるようお願い申し上げます。完全に無雪道路の早期実現によって、冬期間の交通の確保と生活道路としての安全の確保が住民の切なる願いです。(宇川 高橋 忠雄さん)

るわけでありまして。定められた場合にはどうしてもそうゆう際の場合に協力しては協力が得られないわけでありまして、ぜひともそういう点を了解していただきたいと思っております。雪崩防止につきましましては、倉俣地区は昭和五十一年度から始めた訳でありますし、田代地区も本年度から防雪さくを設置を始めていますところでありまして。落石、雪崩防止の点についても今後充分考えていきたいと思っております。出来るだけこの路線の改良促進に努力していきたいと思っております。

県道清津公園線

改良舗装について

知事 県道中深見越後田沢停車場線の改良促進の問題は前にも公共事業で改良整備を進めて予算を確得したんですが、じつは土地の用地買収が必要でありまして、その用地買収でどうしても国の定めた額で、協力を得られなかったという事で予算を返上しているわけがあります。そういう関係で県としてもこの路線はきわめて重要であります。用地買収のお金に致しますが、私も公共事業にゆきされる範囲内で国に要望いたしたい

としまして国の調査計画に基づきまして早期に着工出来る様に積極的に進めたいと思っております。

(三面につづく)

(二面からつづく)

が降雪とともに交通不能となり、小学生は自宅通学が出来ず、家族ぐるみの寄宿生活を余儀なくいたして居ります。せめて小学生が安心して通学出来るよう尚一層の御配慮をお願いいたします。

(小出 村山 一さん)

知事 短かい所ですが御承知の様に本路線はなかなかむづかしい所がたくさんありまして、御承知の様に小出地内と清津峡地内の二箇所現道拡幅をやっているわけでありまして。なお舗装につきましては小出地内より着手する計画を立てているわけでありまして。本年度予算で雪崩防止として十二基設置を年内に完成させる計画です。通学、観光客を中心とした重要な路線ですので、安全な道路として利用出来る様整備していきたいと考えています。

主要地方道小千谷十日町津南線の消雪パイプの伏設について

主要地方道小千谷、十日町、津南線は信濃川左岸に住む私共の生活道路であり唯一のバス路線であります。冬期間は豪雪のためバスが運転休止になることが多く十日町への通勤、通学にも大きな支

障をきたしています。バス運転確保のためにも消雪パイプの伏設を早急にしていただいて、冬期間の交通確保に万全を期して下さい。お願いいたします。幸いにして本屋敷地区に伏設がなされましたが引き続き堀之内、宮中、新屋敷と継続伏設していただきますようお願いいたします。

(堀之内 山岸 己之政さん)

知事 小千谷、十日町、津南線の消雪パイプの問題ですが本屋敷地内は、五十二年度から着手して年内に完成して今年の冬には間に合います。引き続き新屋敷、堀之内の問題ですが、さっそく本年度中に地下水関係を調査してその結果に基づいて整備したいと考えています。

苗場山麓事業の促進について

私共苗場山麓第二地区内にある国有林の払い下げを受けた者全員で小松原活用協議会を結成し、各県の高原を菜先進地を視察したり、後継者を先進地の優秀農家に実習に派遣したりしながら一日も早い開発をまわっています。本年も八月が終ろうとしているのに小松原に通ずる道路は開発されていません。私共が今一番望むことは、小松原幹線道路を早く完成させ立派

な農地を造成していただきたいという事です。尚小松原に行く途中に国民年金保養基地がありこの中を通らなければならぬので、これが一番の障害になっているのですが、出来るだけ自由に基地内を通れるよう御取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

(原町 鈴木 重雄さん)

知事 苗場山麓開発の保養基地内の幹線道路の問題ですが、最近北陸農政局と年金保養事業団との協議書が出来上がりました。今年からただちに工事に入る事になっており、遅くも来年度中には完成する予定です。それから苗場山麓第二地区の農地開発の問題ですが、現在国営事業として昭和五十一年

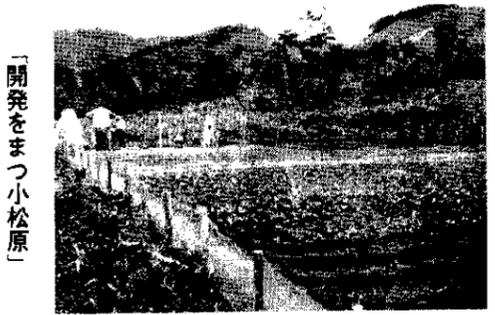
林道田代線(県営)の早期完了について

早期完了について

田代部落は近年の高度経済成長のひずみの中で過疎化の波におそわれ不安と焦燥を感じ、部落の将来を憂慮せざるを得ない現状であります。こうした中で五十一年八月に着手されました県営普通林道田代線は、中里村全面積の三分の二を占める森林、観光等豊富な資源を生かす重要な路線としてこの上なく将来に希望をもてる事業であります。この路線の早期開きにより、森林改良、山地の高度利用等少ない農耕地にプラスされた経営がなされるならば地元住民にとつてこの上ない喜びとするところであります。又東京から二時間

となりまして。林道田代線の早期完成をお願いいたします。(田代 桑原 寛さん)

知事 国有林の林道の事業計画は本年度から六十二年までの十ヶ年計画となっておりこれでは遅すぎると私も考えております。これらの促進に今後も努力したいと考えております。また、残された国有林の部分の開発促進についても努力したいと考えております。いづれにしても湯沢町と連絡することによって非常に効果がある林道でありますので、今後とも国有林道の早期完成の問題について国と充分話し合いをして、今までの計画よりも促進する様に努力したいと考えております。



「開発をまつ小松原」

